

社会福祉法人 槇の里

令和6年度

事業報告書（案）

〔名称〕 障がい者支援施設 いすみ学園

〔事業種目・定員〕

① 施設入所支援事業	52名
② 生活介護事業〔①を含む〕	60名
③ 短期入所事業	4名
④ 共同生活援助事業（包括型）	12名
「さくらの家」	6名
「たんぽぽの家」	6名

目 次

【1】令和6年度を振り返って	1
【2】【利用者支援の柱】 1 高齢・虚弱者対策 （1）利用者の健康管理	2
（2）健康管理	2
（3）入院	4
（4）食事形態	5～8
2. 感染症対策	9
3. 高齢者支援	9
4. 日中活動	9
5. 新棟建設	9
6. 介護浴槽	10
7. 求人活動	10
（1）人材育成	10～15
8. 人事考課	15
9. 減災・リスクマネジメント	15
10. 権利擁護	16
【3】生活介護「作業班編成」	17
（1）園内の売上	17
（2）園内体験異動	18
【4】施設入所支援 1. 余暇活動	18～21
【5】短期入所・日中一時支援	21～22
【6】グループホーム	22～23
【7】食事と睡眠	23
【8】会議	23～26
【9】その他	26～28
設備の整備状況	29
評議員会の開催状況	30
理事会の開催状況	31

【1】令和6年度を振り返って

令和6年度も世界情勢の不安が続く中、天候不順による自然災害や、長引く物価高騰等、暗いニュースが多い一年であった。

いすみ学園では、近年において利用者の高齢化、虚弱化に伴う様々な課題に対し支援を講じてきた。その中で特にいすみ医療センターを中心とした医療機関との連携は必須であり、今後も更に強化していく構えである。今年度も健康診断や、ワクチン接種、更には怪我や病気の治療を目的とした通院支援を日常的に実施してきた。また、肺炎や骨折、尿路感染症等による入院件数は13件で日数は393日であった。この結果は、5年度をはるかに上回る結果であった。しかし医療機関（いすみ医療センター・塩田病院・亀田総合病院）の協力により、全てのケースにおいて大変に順調な治療と入退院の対応を取って頂けた。感謝の思いで一杯である。

次に特記すべきは、今年度実施された報酬改定によって国から示された様々な指針である。我々障がい者支援施設の存在そのものを揺るがすとも言える「脱施設化」「地域移行」に対しては、次年度以降しっかりと手順を踏んだ上で計画的に進めていく為に担当者を選任した。「意思決定支援」と合わせ計画書やマニュアルを整備し、準備の段階である。次回の報酬改定（令和9年度）までに結果を出すよう努力していく。しかし、入所施設の必要性は言うまでもない。入所施設だから出来る支援をプライドを持って主張すべく、机上の物では無く、現実的なニーズに応ずる現場の声を、国にフィードバックしていく事も必要と考えるところである。

さて、昨年度の最大のイベントは「創立40周年記念式典」であった。12月8日地域交流ホームを会場に、保護者の皆さんと利用者、職員一同で盛大にお祝いした。来賓祝辞ではいすみ市長の太田 洋様より心温まるメッセージを頂いた。いすみ学園園歌を歌う利用者の明るく軽やかな歌声が会場に響いた。既に天国へ旅立った仲間達や前理事長を始めとする「いすみ学園創設者」にも届いたであろう。参加者それぞれが40年の歴史を回想した記念の日であった。

いすみ学園は今までの実践の成果をしっかりと検証するとともに、令和7年度は先に述べた時代の要請に応える処遇体制の確立を目指して、50周年に向け第一歩を踏み出す年にしたいと考える。

【2】利用者支援の柱

1. 高齢・虚弱者対策

(1) 利用者の健康管理

内科的フォローが必要な利用者は年々増加傾向にあり、いすみ医療センターの役割は依存度を増している。基本的には3ヶ月に1度検診を実施しているが、嘱託医の伴先生はそのつど検査結果を基に看護師に的確な指示とアドバイスを頂いている。食事形態の変更や内服調整に関しても迅速な対応をいただき、利用者の健康管理に寄与していただいている。

脳神経内科の野村先生にも多大な貢献をいただいている。とくに突発的な利用者の体調変化や入院に伴う相談に対して快く応じて下さっている。突然体調を崩すことの多い発達障がい者にとって心強い限りである。

また歯科治療に関してはちはら歯科に全面的にサポートをしていただいている。月に1度の作業班別検診（利用者は年2回検診）と、その都度の治療を継続している。検診時に歯石除去も行い、定期的なクリーニングが実施できている。

(2) 健康管理

内容	実施日	対象者
利用者健康診断(心電図含む) 夷隅医師会診療所(巡回健診)	R6.8.19	全利用者(65名)
利用者健康診断(胸部 X-P 含む) 夷隅医師会診療所	R7.2.4	全利用者(63名)
生活習慣病予防健診 JCHO 千葉病院(巡回健診)	R6.7.16	夜勤従事者(25名)
生活習慣病予防健診 JCHO 千葉病院(巡回健診)	R7.1.28	職員(45名)
肝炎検査		対象者なし
大腸がん検診	R6.6.1～6.20	47名
前立腺がん検診	R6.5.28	25名
乳がん検診	R6.7.16 R6.8.6 R7.2.18	16名 1名 1名
新型コロナワクチン接種 (65歳以上及び希望者)	R6.11.27 R7.1.9	8名 34名

インフルエンザ予防接種	R6.10.31	全利用者(66 名) 職員(52 名) 委託業者(8 名)
肺炎球菌ワクチン接種	R6.11.27	1 名
脳神経内科(野村 Dr.)診察 血液(血中薬物濃度測定)検査	毎月第 2 金曜日 R6.7.1	延べ人数 443 名 40 名
喀痰吸引等研修(1 号)	R6.4.5～	1 名
毎月第 1 土曜日に体重測定 隔週日曜日に血圧測定		
救急講習(ケース会議で看護師(救命講習普及員)が「急変時の対応」について研修実施)		

* インフルエンザ予防接種は永津さいとう医院閉院のため北村整形外科 北村 Dr.来園し
いすみ学園医務室で実施。

施設外診療

診療科	延べ人数	備考
脳神経内科	68 名	野村 Dr.訪問診察除く
内科	245 名	ワクチン接種・健康診断除く
外科	21 名	大腸内視鏡検査 2 名
整形外科	18 名	
泌尿器科	27 名	
皮膚科	30 名	
耳鼻科	3 名	
眼科	6 名	
婦人科	6 名	
乳腺外来	3 名	
歯科	192 名	
合計	619 名	

いすみ医療センター・塩田病院・亀田クリニック・長生病院

北村整形外科・吉田外科内科・大原眼科・茂原皮膚科・ちはら歯科医院・鈴木歯科医院

野村 Dr.診察

4/19 41 名	5/10 中止	6/14 41 名	7/19 40 名	8/9 40 名	9/13 40 名
10/11 40 名	11/8 40 名	12/13 40 名	1/10 40 名	2/14 40 名	3/14 41 名

*5 月の診察は Dr.の都合で中止。

*10月の診察は感染対策中のため状態報告のみ。

*2月の診察は感染対策中のため状態報告のみ。

歯科検診（ちはら歯科医院）

4/12 外作業班 9名	5/10 地域活動班 10名	6/14 万木2班 11名	7/19 石鹼班 10名	8/9 加工班 12名	9/13 万木1班 8名
10/11 外作業班 9名	11/8 地域活動班 10名	12/13 万木2班 14名	1/10 石鹼班 10名	2/14 加工班 9名	3/14 外作業班 9名

*ちはら歯科にて定期検診しているため年1回の集団歯科検診は中止。

*G実習・就労者は鈴木歯科医院受診。

（3）入院

利用者名		医療機関	入院日	退院日
I・Y	肺炎	塩田病院脳神経内科	R6年3月9日	R6年7月9日 療養型転科
N・J	尿路感染症	いすみ医療センター内科	R6年5月15日	R6年6月17日
M・F	貧血 尿路感染症	いすみ医療センター内科	R6年7月12日	R6年8月19日
M・F	貧血	いすみ医療センター内科	R6年9月11日	R6年10月8日
K・I	心不全疑い	いすみ医療センター内科	R6年10月3日	R6年10月17日
M・F	右大腿骨 骨幹部骨折	塩田病院整形外科	R6年10月18日	R6年10月29日
N・J	尿路感染症	いすみ医療センター内科	R6年11月12日	R6年11月29日
M・S	嘔吐 体重減少	塩田病院脳神経内科	R6年11月18日	R7年2月26日
N・J	尿路感染症	いすみ医療センター内科	R6年12月16日	R7年1月7日
K・N	肺炎 インフルエンザ	いすみ医療センター内科	R6年12月20日	R6年12月28日

I・K	右大腿骨 ステム周囲骨折	長生病院整形外科	R7 年 1 月 16 日	R 7 年 1 月 24 日
T・H	慢性 硬膜下血腫	亀田病院脳神経外科	R7 年 3 月 3 日	R7 年 3 月 13 日
K・N	肺炎	いすみ医療センター内科	R7 年 3 月 29 日	

(4) 食事形態

【主治医の指示があり食事変更を行った方】

R6. 10 月 17 日（夕）～心臓病食 D（2100 kcal）食塩量 6 g 未満 水分量 1000 ml/日 男性 1 名

R7. 2 月 26 日（夕）～糖尿病食 B（1400 kcal）食塩量 6 g 未満

全粥 260 g ・ ごく刻みトロミ付き

禁食指示：芋類・揚げ物・肉類は鶏肉のみ（ひき肉も含む）

甘いゼリー禁（おやつ配慮が必要）

女性 1 名

【健康管理委員会にて食事量の見直しを行った方】

R6. 4 月 30 日（朝）～ C/D ⇒D（2000 kcal ⇒2100 kcal）BMI 20.6 男性 1 名

R6. 4 月 30 日（朝）～ A（1200 kcal）⇒昼食弁当のみご飯 60 g 約 100 kcalアップ

BMI19.8

女性 1 名

R6. 4 月 30 日（朝）～ B/C ⇒C（1700 kcal ⇒1900 kcal）BMI 20.9

女性 1 名

R6. 4 月 30 日（朝）～ C ⇒B/C（1900 kcal ⇒1700 kcal）BMI 23.7

R5. 6 月 9 日より、リスペリドン錠 1 mg（1-0-1）

内服にて体重増加傾向の為

女性 1 名

R6. 4 月 30 日（朝）～ D ⇒ D/E（2100 kcal ⇒2500 kcal）BMI 19.3

男性 1 名

R6. 6 月 21 日（夕）～ 主菜メイン肉・魚のみ一口大刻みへ 誤嚥あり

女性 1 名

R6. 6 月 22 日（昼）～ B/C ⇒ C（1700 kcal ⇒1900 kcal）BMI 19.6

女性 1 名

R6. 8 月 1 日（朝）～ スベラ粥から全粥、水分トロミなしへ

女性 1 名

R6. 9 月 1 日（朝）～ E ⇒ D（2800 kcal ⇒2100 kcal）BMI 23.4

男性 1 名

【体調不良などで食止め、食事量の調整、食事形態や食具の変更、食事提供場所変更等】

R6. 4 月 1 日（昼）～4 月 2 日（朝） 嘔吐ありデイスポ食器居室提供 男性 2 名

R6. 4 月 5 日（朝） 発熱・日中下痢あり デイスポ食器居室提供 男性 1 名

R6. 5 月 12 日（朝）～5 月 13 日（朝）発熱・咳 デイスポ食器居室提供 女性 1 名

R6.5月13日(朝)・14日(朝)	発熱 ディスポ食器居室提供	女性1名
R6.5月22日(夕)～5月23日(夕)	発熱 ディスポ食器居室提供	男性1名
R6.6月6日(昼)・6月7日(夕)～6月10日(月)	発熱・体調不良	
	さくらグループホームから学園対応	男性1名
R6.6月17日(昼)～粥50gからスベラ粥、一口大刻みからごく刻みトロミ付き食下げ		女性1名
R6.6月26日(夕)～食事トレーセット	カウンター置き対応	男性1名
R6.7月12日(夕)～8月31日(昼)	体調不良	
	たんぽぽグループホームから学園対応	女性1名
R6.8月8日(朝)～個人購入	栄養補助食品汁物に添加	女性1名
R6.9月1日(朝)～個人購入	栄養補助食品汁物から主食に添加へ変更	女性1名
R6.9月6日(昼)～	カレースプーン毎食セット 食べこぼし防止	男性1名
R6.9月14日(朝)	発熱・下痢・血便あり ディスポ食器居室提供	男性1名
R6.9月14日(夕)～9月17日(朝)	絶食 OS-1 10/日提供(点滴・抗生剤治療の為)	
		男性1名
R6.9月17日(夕)～9月20日(夕)	常食から粥・ごく刻みへ(絶食後の食上げ)	
		男性1名
R6.9月21日(朝)～	粥・ごく刻みから常食へ(体調回復にて食上げ)	男性1名
R6.9月22日(夕)～9月24日(昼)	発熱 ディスポ食器居室提供	男性1名
R6.10月7日(朝)～10月18日(昼)	コロナ陽性 静養ディスポ食器居室提供	
		女性1名
R6.10月10日(夕)～10月21日(朝)	コロナ陽性 静養ディスポ食器居室提供	
		女性1名
R6.10月11日(朝)～10月18日(昼)	感染予防対策強化期間ディスポ食器使用	
R6.10月11日(朝～夕)	大腸カメラ検査食提供	男性1名
R6.12月20日(夕)～R7.1月6日(朝)	感染予防対策強化期間ディスポ食器使用	
R6.12月23日(昼)～R7.1月5日(夕)	たんぽぽグループホームディスポ食器使用	
R6.12月26日(夕)～7mm刻みから2mmごく刻みへ	義歯無く残歯のみ	女性1名
R7.1月6日(昼)～R7.1月7日(朝)	静養ディスポ食器居室提供	男女各2名
R7.1月6日(昼)～R7.1月11日(朝)	静養ディスポ食器居室提供	女性1名
R7.2月4日(昼)	食止め 嘔吐	男性2名
R7.2月4日(夕)	常食から粥提供 静養ディスポ食器居室提供	男性2名
R7.2月4日(夕)～2月6日(朝)	食止め 嘔吐	男性1名
R7.2月5日(昼)～2月7日(朝)	発熱男性4名・嘔吐2名・イレウス1名	
	内4名粥提供	
R7.2月5日(昼)～2月8日(朝)	男性感染予防対策強化期間ディスポ食器使用	

R7.2月9日（昼）～2月17日（朝） 嘔吐男性2名・発熱男性7名・下痢1名
 内4名粥提供
 男性感染予防対策強化期間ディスプレイ食器使用

R7.3月2日（夕）～3月10日（昼） コロナ陽性 静養ディスプレイ食器居室提供
 男性1名
 男性感染予防対策強化期間ディスプレイ食器使用

R7.3月3日（昼）～3月10日（昼） コロナ陽性 静養ディスプレイ食器居室提供
 たんぽぽグループホーム 男性1名

R7.3月4日（朝）～3月10日（昼） 発熱女性1名
 女性感染予防対策強化期間ディスプレイ食器使用

R7.3月4日（朝）～3月11日（朝） 静養ディスプレイ食器居室提供 男女各1名

R7.3月4日（朝）～3月12日（朝） 静養ディスプレイ食器居室提供 女性2名

【入退院食事止め】

R6.5月15日（夕）～6月17日（昼） いすみ医療センター入院 女性1名

R6.7月12日（夕）～8月19日（昼） いすみ医療センター入院 女性1名

R6.9月11日（昼）～10月8日（昼） いすみ医療センター入院 女性1名

R6.10月3日（夕）～10月17日（昼） いすみ医療センター入院 男性1名

R6.10月18日（夕）～10月29日（昼） 塩田病院 入院 女性1名

R6.11月12日（夕）～11月29日（昼） いすみ医療センター入院 女性1名

R6.11月18日（昼）～R7.2月26日（昼） 塩田病院 入院 女性1名

R6.12月16日（夕）～R7.1月7日（昼） いすみ医療センター入院 女性1名

R6.12月20日（夕）～R6.12月28日（昼） いすみ医療センター入院 男性1名

R7.1月16日（昼）～R7.1月24日（昼） 長生病院 入院 男性1名

R7.3月3日（夕）～R7.3月13日（昼） 亀田病院 入院 男性1名

R7.3月29日（昼）～R7.4月21日（昼） いすみ医療センター 入院 男性1名

【栄養管理について】

- ・令和6年2月に嗜好調査、身体活動レベルの見直しを行い、令和7年度の給与栄養目標量を算定。

給与栄養目標量：エネルギー2000 kcal たんぱく質 80g 脂質 55g 炭水化物 250g 食塩 8g
 高齢化、身体活動量の低下等に伴い、給与栄養目標量が前年度より 100 kcal低下した。

- ・療養食加算 糖尿病食 女性2名 DM1400 kcal R3.5月14日（朝）より 食塩 6g 以下
 DM1900 kcal R4.4月6日（夕）より
 糖尿病食 男性2名 DM1900 kcal R2.11月11日（昼）より
 DM2100 kcal R4.4月6日（夕）より

- 心臓病食 男性 1 名 2100 kcal R6.10 月 17 日（夕）より 以上 5 名継続
- ・ 個人購入にて栄養剤（たんぱく質ゼリー等）提供している方 男性 1 名 女性 2 名
 <たんぱく質ゼリー：70 g / 1 個（エネルギー91 kcal タンパク質 7.5 g）>
 - 個人購入 栄養補助飲料 クリニコ：クリミールコーヒー味 125 ml / 本 BMI 痩せの為
 エネルギー200 kcal タンパク質 7.5 g
 - 個人購入 栄養補助飲料 クリニコ：①リハたいむ 120 g / 本
 エネルギー100 kcal タンパク質 10.0 g
 ②プロテイン FeZ 10 g / 日 主食に添加
 エネルギー38 kcal タンパク質 8 g
 鉄 2.4 g 亜鉛 4.0 g 2 種類提供女性 1 名
 - ・ 高齢化で摂食嚥下機能低下がみられ食事形態、食具の見直し、食事量の調整が増えた。
 また入退院が多く、委託会社レオックと食事箋のやり取り、業務調整が増えた。
 このことから、従来の食事形態では対応が難しくなるケースが増加することが見込まれる。
 今後個別対応の必要性が高くなっていき、業務の細分化が進み、より専門的かつ効率的な
 アプローチが求められる状況となってくる。こうした変化は、支援員や専門職が食事形態、
 摂食嚥下や身体活動等トータルで支援する新たな技能や知識の習得を求める一方で、給食
 業務の見直しが必要となってくる。

【栄養状態の評価 51 名中】

令和 6 年 4 月 肥満 2%：男性 1 名 女性 0 名 痩せ 20%：男性 6 名 女性 4 名
 令和 7 年 3 月 肥満 2%：男性 1 名 女性 0 名 痩せ 13%：男性 5 名 女性 2 名
 令和 7 年 3 月 31 日 男性 2 名入院中

	男性	女性	とろみ使用
常食	29 名	12 名	0
一口大	3 名	2 名	1 名
刻み	0	0 名	0 名
ごく刻み	1 名	4 名	4 名
粥	0	2 名	
スベラ粥	1 名	2 名	
経管栄養	0 名		

令和 7 年 3 月 31 日 現在

2. 感染症対策

新型コロナの世界的な蔓延から感染症対策は緩まることなく進められている。社会的にもウィズコロナは日常となり、学園でも日常余暇や班旅行など制限することなく日常生活を大いに楽しむことができた。ただし年末から年始にかけてはインフルエンザ、感染性胃腸炎、新型コロナと立て続けにクラスターを経験することとなり、一時的に日中活動の分離などで対応したが、すべての活動を感染対応に充てることはまぬがれた。

3. 高齢者支援

利用者支援における介護度の割合は年々高くなっている。車いす利用者、バルーンカテテル挿入の利用者、マンツーマンでの移動付き添い介助を要する利用者の数は10名を超えている。日中活動における「移動」の安全確保と効率化は喫緊の課題である。また移動だけでなく日常生活上のADL全般にも同じことが言える。今まで口頭指示が成立してきたことが多くの介助が必要となっているのが実態である。障害者支援施設としての役割の変化を求められていると言ってよい。

さらに医療面ではより深刻である。内疾患等で入院した利用者は13件であり、令和5年度の3件をはるかに上回る結果となった。このことは自分の不調を訴えることのできない発達障がい者の特性を顕しているが、高齢になったことで急速に重症化することも大きな要因となっている。

4. 日中活動

日中活動及び余暇活動、行事、一時帰宅、面会等の年間行事計画はすべて計画通りに実施することができた。感染症の関係で部分的かつ一時的に中止したものもあるが、概ね利用者の生活は「働くこと」と「楽しむこと」の両輪で進めることができた。

作業班及びクラブ活動は基本的に大きな改変は実施することなく進めた。共に高齢虚弱化への対応と生産力向上の二極化への対応という点では変わらない。その方向性で職員も着実に力をつけることができた。

5. 新棟建設

世界全体の政治および経済状況は波にもまれるかのごとく安定していない。アメリカのトランプ大統領の2度目の就任によって、さらに混迷が深くなっている。このような情勢下では安定的に大規模な建築活動を展開することもできず、計画のまま見守っている状態にある。今後の推移を見守りつつ今後の再開を予定している。

6. 介護浴槽

介護浴槽導入後から継続的に実施している。基本的には車いす利用者を中心としているが、今年度は退院後の利用者についても予後の充実のために介護浴槽での入浴を実施した。体力が落ちている状態の利用者にとっては、一般浴槽では接触や転倒の危険性も高く、リスク要因は大きい。介護浴槽を利用することで安全かつ安心した入浴を実践することができた。今後も積極的な利用を続けていく。

7. 求人活動

学園ホームページでの求人に加え、ハローワーク及び地域向けの求人情報誌などを活用した。その結果、複数の問い合わせがあり、その中から有為の人材を獲得することができた。

(1) 人材育成

* 職場内研修

今年度の職場内研修は以下の予定で実施した。その目的は「職員が学びたいこと」「職員に学んでほしいこと」を研鑽することで、職員の知識を高めると共にその後の利用者支援に対するスキルアップを図ることにある。

	テーマ	内 容	担当
4 月	学園理念	学園理念	施設長
5 月	支援の方向性	支援の方向性について	課長
6 月	高齢化対策	認知症を学ぶ	加茂
7 月	強度行動障害	強度行動障害について学ぶ	末吉
8 月	健康管理	自閉症とは	鈴木
9 月	防災対策	防災グッズの使い方	三上
10 月	権利擁護	虐待防止について	岩瀬祐
11 月	余暇支援	余暇とは	田辺
1 月	商品研究	福祉施設のマーケティングについて	佐久間
2 月	就労支援	地域における就労支援	片岡
3 月	地域支援	制度に則った暮らし	屋代

* 職場外研修（直後の支援会議で研修報告をする事を義務としている）

前年度同様に職員個々の希望するテーマに沿った内容の研修、支援スタッフ部会、権利擁護委員会、災害対策委員会への派遣、施設見学（給食業務）などといった個別業務によるも

のが多く、可能な限り計画的に派遣した。

(職場外) 目的に合わせて派遣。

期間	参加者	研修テーマ	開催地	目的
4. 4	佐久間	支援スタッフ部会	千葉	出張
4. 7～	鈴木典	喀痰吸引等研修 (1号)	千葉	研修
4. 8～	金城 長田 是枝 會津	強度行動障害基礎研修・実践研修	リモート	研修
4. 10	三神	東社協災害対策委員会	東京	出張
4. 15	三神	能登半島地震東京都災害派遣福祉チーム活動報告会	東京	出張
4. 18	大屋	栄養ケア・マネジメントを学ぶ	千葉	研修
6. 4	秋葉 祖一	いざ実践！新時代の販売力向上セミナー	東京	研修
6. 4	岩瀬祐 高地	障害者差別解消法に係る説明会	リモート	研修
6. 5	鈴木典	夷隅特別支援学校 前期学校公開	千葉	出張
6. 12	三神	東社協災害対策委員会 6 月会議	東京	出張
6. 12 ～13	堂下 加茂	第 1 回障害のある人の意思決定支援を推進するための実践研修会	東京	研修
6. 14	大屋	夷隅郡市栄養士会	千葉	研修
6. 14	奥野	令和 6 年度本人中心支援研修	リモート	研修
6. 18	是枝	千葉県知的障害者福祉協会権利擁護委員会定例会	千葉	出張
6. 24	佐久間	支援スタッフ部会	千葉	出張
6. 27	大屋	夷隅郡市栄養士会 総会	千葉	研修
6. 27	長田	権利擁護虐待防止研修	リモート	研修
7. 3	加茂	知的発達障害部会生活寮・GH 等ネットワーク委員会 東京都グループホーム制度説明会	リモート	研修
7. 4	佐久間	第 51 回関東地区知的障害福祉関係職員研究大会 長野大会	長野	出張
7. 10	大屋	千葉県栄養士会福祉事業部 第二回研修会 令和 6 年度介護報酬改定・障害福祉サービス等報酬改定について	リモート	研修

7. 11 ～12	堂下 長沼 佐久間	全国知的障害関係施設長等会議	東京	出張
7. 16	佐久間	千葉県知的福祉協会 理事会	千葉	出張
7. 18	高地 吉田	法人の魅力を伝える採用活動研修会	千葉	出張
7. 19～	鈴木典	喀痰吸引等研修 現場実習	千葉	研修
7. 28 ～ 29	三神	東社協災害対策委員会施設見学会	山梨	出張
7. 30	長沼 軽込 大屋 鈴木典	袖ヶ浦学園見学	千葉	出張
8. 2	長沼	社会福祉法人会計セミナー「基本編」	東京	研修
8. 2	是枝	千葉県知的障害者福祉協会権利擁護委員会定例会	千葉	出張
8. 5	鈴木 加茂	ケアホーム coco 見学	千葉	出張
8. 6	大屋	夷隅郡市栄養士会役員会	千葉	研修
8. 8	佐久間	支援スタッフ部会 代表者会議及び学習会打ち合わせ	千葉	出張
8. 21	佐久間	千葉県知的福祉協会	千葉	出張
8. 21	三神 大木 小高 秋葉 藤平	千葉県強度行動障害支援者養成研修 (1日目 千葉県教育会館 大ホール)	千葉	研修
8. 22	是枝	東社協 第2回 虐待防止・権利擁護研修	リモート	研修
8. 23	土屋	会計実務に関する情報交換会	東京	研修
8. 27	三神 大木 小高 秋葉 藤平	千葉県強度行動障害支援者養成研修 (2日目 ふるさと学舎蔵波)	千葉	研修
8. 28 ～29	佐久間	支援スタッフ部会 十倉厚生園施設見学	千葉	出張

8.30	軽込	全自者協関東ブロック会議	埼玉	出張
9.4	加茂	障害者虐待防止管理者研修会	リモート	研修
9.6	堂下 加茂 小守 小柴	令和6年度 生活支援員・世話人対象研修会	千葉	研修
9.11 ～12	堂下 加茂	第35回 全国GH等研修会 近畿地区大会 in 兵庫	兵庫	研修
9.13 ～14	堂下 加茂	地域支援部会役員県外一泊研修会	兵庫	出張
9.27	大屋	令和6年度食品衛生講習会	千葉	研修
10.10	大屋	夷隅健康福祉センター運営協議会	千葉	出張
10.10	佐久間	千葉県知的福祉協会理事会	千葉	出張
10.10 11	屋代	化学物質管理者専門講習	千葉	研修
10.22	是枝	千葉県知的障害者福祉協会権利擁護委員会定例会 及び施設見学	千葉	出張
10.24 25	鈴木典	相談支援・就業支援セミナー	東京	研修
11.1～ 2	三神	東社協災害対策委員会 群馬視察	群馬	出張
11.6	奥野	令和6年度新任（転職）研修会	千葉	研修
11.9	大屋	日本人の食事摂取基準 2025年版準備編	リモート	研修
11.14 ～15	佐久間	関東地区知的障害関係施設種別代表者会議	茨城	出張
11.21	佐久間	支援スタッフ部会	千葉	出張
11.22	是枝	千葉県知的障害者福祉協会権利擁護委員会定例会	千葉	出張
11.25	鈴木典	いすみ3施設交換研修会	千葉	研修
12.3	大屋	夷隅郡市栄養士会役員会	千葉	出張
12.4	佐久間	千葉県知的福祉協会	千葉	出張
12.9 ～10	軽込 鈴木典	全日本自閉症者支援協会岩手大会	岩手	研修
12.11	三神	東社協災害対策委員会	東京	出張
12.12	堂下	千葉県知的障害者福祉協会地域支援部会	千葉	出張

	長沼 加茂	令和6年管理者・サービス管理責任者研修会		
12. 14	藤平由	千葉県てんかん支援拠点病院 Web 研修会	リモート	研修
12. 14	鈴木典	東社協知的発達部会通所施設分科会 令和6年度 第2回合同学習会	東京	研修
12. 16	三神	東社協災害対策委員会 学習会 災害シュミレーションについて学ぶ 研修補助	東京	出張
12. 16	長田	災害シュミレーションについて学ぶ	リモート	研修
1. 24	是枝	千葉県知的障害者福祉協会権利擁護委員会定例会	千葉	出張
1. 30	高地 鈴木典	千葉県知的障害者福祉協会 権利擁護委員会 虐待をなくすためのチーム作り・合意形成につい て学ぶ研修会	千葉	研修
2. 3	佐久間	支援スタッフ部会 第5回運営委員会	千葉	出張
2. 5	佐久間	支援スタッフ部会 ブロック会議及び施設見学	千葉	出張
2. 6	大屋	夷隅郡市栄養士会研修会	千葉	研修
2. 7	佐久間	千葉県知的福祉協会 理事会	千葉	出張
2. 12	三神	東社協災害対策委員会 2月会議	リモート	出張
2. 15	佐久間	令和6年度自立支援セミナー	千葉	出張
2. 22	鈴木典 岩瀬祐	知的発達障害部会 利用者支援研究会合同学習会 アセスメントから始まる行動障害の特性理解	東京	研修
2. 24 ～25	堂下 軽込 佐久間	令和6年度千葉県知的障害者福祉協会施設長 一泊研修会	千葉	出張
2. 26	大屋	夷隅地域・職域連携推進協議会	千葉	出張
2. 26	三神	DWATフォローアップ研修	東京	出張
3. 6 ～7	佐久間	令和6年度部会協議会および全国支援スタッフ 委員会代表者会議	東京	出張
3. 11	大屋	夷隅郡市栄養士会役員会	千葉	出張
3. 12	加茂	令和7年度国・県の動向について	リモート	研修
3. 14	堂下 加茂	国際福祉研究機構ザ・チェンジド シンポジウム 2025	東京	出張
3. 27	是枝	知的障害者福祉協会権利擁護委員会定例及び情報 交換会	千葉	出張

(若手・準職・GH職員対象研修)

若手・準職・GH職員の育成は中堅職員の役割であり、今年度も主任会で実施した。

月	対象職員	実施日	研修テーマ	担当主任
4	新規採用職員	4 / 1	規定・マニュアル等	片岡
4	新規採用職員	4 / 14	法人理念	軽込課長
5	〃	5 / 20	自閉症支援の実践	田辺
6	〃	7 / 22	虐待防止	岩瀬
7	〃	7 / 22	福祉制度	吉田
9	〃	9 / 25	地域支援	屋代
10	〃	10 / 1	健康管理・感染症対策	田辺
11	若手職員	11 / 16	危機管理	片岡
1	GH職員	1 / 29	虐待防止	岩瀬
2	準職員	2 / 28	虐待防止	岩瀬
3	GH職員	3 / 26	地域支援	屋代

8. 人事考課「目標管理」

目標管理も人材育成・能力開発・公正な処遇基準とすることを目的とした取り組みであり、人事考課規程に基づき、10月と3月の年2回実施した。職員の能力・技術を高めることに加えて、上司と部下の相談や意見交換の機会を増やすことも目的としている。目標管理のみならず日常的な上司と部下の意見交換のツールとして活用されており、職場の円滑なコミュニケーションを深める意味で活用されている。

9. 減災・リスクマネジメント

自然災害の脅威は年々被害を増しており、世界的にもニュースにならない日がないほどである。日本では1月28日に埼玉県八潮市で発生した大規模な下水道崩落事故は戦後構築されたインフラの老朽化という建築設備上の問題点を露呈させた。これは八潮市に限らず全国的にみれば毎日のように発生している事故であり、学園でも十分に起こりえることである。今年度は災害や紛争以外にも人災と言ってよいインフラにも関心をもって取り組むことが利用者の生活保障につながるという意識も持つ必要がある。感染症に関しては年末から繰り返されたクラスター対応である。インフルエンザに始まり、感染性胃腸炎、新型コロナと月ごとに発生した。しかしながら利用者に関しては1人も重症化することなく鎮静化させることができた。リスクマネジメントに関しては、インシデントレポートの提出件数は236件（令和5年度278件）と前年度を下回る結果となった。外傷転倒報告書は41件（令和5年度53件）事故報告書は22件（令和5年度は36件）とインシデン

トレポートの提出件数は下回っているが、外傷転倒報告、事故報告共に前年度を下回ることとなり、高齢虚弱化が進む中でリスク要因が高くなっているにもかかわらず、職員の危険予知、並びに事故回避能力は高くなっていると評価できる。

特に安全カメラを居室にも導入したことにより、事故の検証が容易となったことにより、職員が事故の予測が立てやすくなっていることも大きな要因と考えられる。

10. 権利擁護

権利擁護委員会では主に以下のような取り組みを行った。

(1) 東京都福祉サービス第三者評価、利用者満足度調査の実施（7月16日、17日実施）

株式会社ハッピーネットワークに依頼。1日目（グループ実習班、外作業班）2日目（万木班1、万木班2、石嶮班、食品加工班、地域活動班）の2日間に分けて生活介護52名全員の聞き取りを行い、2日目には場面観察を含めた施設内案内も行った。利用者調査については感染症対策を施しながら調査員が聞き取りを円滑に行えるよう誘導や声かけを行い、混乱無く順調に行うことが出来た。

(2) 職場内研修（10月19日実施）

権利擁護について「記録」から考える、という事で日ごろの記録の記述について改めて見直し、権利擁護の視点で適切かどうかを話し合った。例文を元に、記録が客観的事実に基づいた正確なものか、第三者が見ても不快に感じないものであるかということのポイントとしてグループワークでそれぞれ検討し意見を出し合った。ここ数年ICTにより記録の入力が簡単便利になった分、内容が薄くなっているという課題もあり、改めて記録の重要性について再認識できた。

(3) 利用者の行事参加アンケート調査の実施と集計

5月に行事参加についてのアンケートを実施、利用者の行事参加についての聞き取りを行った。その結果を基に、夏祭り・槇の里祭・クリスマス忘年会・歌の祭典といった学園行事において利用者の希望する役割に主体的に取り組めるように進めることが出来た。

(4) 選挙の投票支援の実施

10月の衆議院議員総選挙と3月の県知事選挙において、対象利用者に事前に十分な説明と投票の希望の意思確認をした上で、期日前投票の日程を調整し安全かつ円滑に行えるよう支援した。

(5) よりよい支援のために（支援の成功例の事例検討）

昨年度に引き続き今年度も各作業班での班会議時に支援の成功例等についてそれぞれ出しあい記録に残してもらうよう働きかけた。日々の支援について権利擁護の視点で見直し、互いに共有することで新たな気づきやよりよい支援に繋げる事が出来、虐待防止と利用者の権利擁護の一助となっている。

(6) 千葉県福祉協会権利擁護委員会への参加

定例会では千葉県の現状や各参加施設の現状など権利擁護の視点での情報交換と、主催

の研修会の準備等を行った。

【３】生活介護（６０名）

[作業班編成]

作業班	利用者		職 員
万木工舎班 利用者（９名）	男性利用者 女性利用者	５名 ４名	高地優輔・藤平 響 奥野貴成・吉田友希 會津みどり・鵜澤美帆 吉野由起子・菅根早苗 鈴木典子・加茂正和
文化活動班 利用者（11名）	男性利用者 女性利用者	４名 ７名	
外作業班 利用者（９名）	男性利用者	９名	田辺清万・三上慎一郎 佐久間雅也・金城正直 長田圭司・三神颯人 末吉武司・川名純子 皆川真輝・鈴木 晃 平山紀夫
地域活動班 利用者（８名）	男性利用者	８名	
石鹼班 利用者（10名）	男性利用者 女性利用者	５名 ５名	屋代精一・岩瀬佳代子 大木崇司・是枝志津子 藤平浩美
食品加工班 利用者（10名）	男性利用者 女性利用者	２名 ８名	岩瀬祐三子・祖一陽子 秋葉智子・市東やす子 池田恵理子
グループ実習 利用者（９名）	男性利用者 女性利用者	８名 １名	片岡彰則・篠崎俊克 泰居容一

（１）園内の売上

分 類	令和６年度（円）
手芸品・石鹼・食品加工・万木織り・野菜・クラブ活動	5,362,165
受託整備 いすみ市（万木城址公園草刈り・広域農道草花植栽）	1,827,100
受託整備 いすみ警察（障害者優先調達推進法事業）草刈り業務	98,000
受託整備 （株）第一エレクトロニクス 除草作業	500,000

合 計	7,787,265
-----	-----------

(2) 園内体験異動

昨年同様にリフレッシュを目的とした年間を通した「加工班から外作業班」への週1度の異動。高齢、虚弱対策と夏場の居場所作りを目的にサマータイム期間において、外作業班から万木班へ1名。その期間中に体力作りを目的に万木班から外作業班に1名が異動した。

【4】施設入所支援（52名）

1 余暇活動

(1) クラブ活動

[クラブ編成表]

クラブ名	利 用 者	職 員
ウォーキング	女性利用者 6名	會津みどり・岩瀬祐三子 祖一陽子
スイミング	男性利用者 7名	田辺清万・泰居容一 佐久間雅也・皆川真輝
太鼓	男性利用者 7名	屋代精一・大木崇司 高地優輔
自転車	男性利用者 7名	末吉武司・片岡彰則 藤平 響
茶道	女性利用者 4名	是枝志津子・小高由希子 秋葉智子・(小林先生)
陶芸	男性利用者 6名	篠崎俊克・長田圭司 鵜澤美帆・(井口先生)
卓球	男性利用者 3名 女性利用者 4名	吉田友希・三神颯人 奥野貴成・川名純子
悠ゆう	男性利用者 4名 女性利用者 4名	岩瀬佳代子・三上慎一郎 金城正直・菅根早苗

今年度も月2回の会議日をクラブ実施日として、内容の充実を図っている。

感染対策（マスク着用と手指消毒）を継続しつつ、コンビニでの買い物なども踏まえ実施した。

(2) 絵画教室

感染症対応及び予防期間を除き（6回）、先生を招き実施した。自らの希望で参加した利用

者は、皆楽しんで活動できた様子である。

(3) マイサポート

	実施回数 (回)	利用者 (名)	備 考
令和6年度	7 1	9 7	内容は個別での外食が中心

(4) ボランティア

行事及び週末余暇において、外部からのボランティアによる支援力はいすみ学園にとって大切なマンパワーと言える。

槇の里祭において、外部より 41 名の参加を得た。また、8/7 には、学生 2 名万木班と石鹼班の作業に入った。また、2/20 の歌の祭典では、演歌歌手の大森あきらさんにボランティア参加をして頂いた。

(5) いすみ学園三大祭り：夏祭り・槇の里祭・歌の祭典

7 月 27 日に夏祭り。10 月 26 日に槇の里祭。歌の祭典（紅白歌合戦）は 2 月 20 日。全て計画通りに実施した。

(6) 販売会

6/22、/23「春の生き生きフェア」。6/29、「第一回電車見学 day」。9/13～16「夏の生き生きフェア」。11/3「いすみふるさと祭り」。11/17「九十九祭」。3/29「第二回電車見学 day」。3/30「国吉春まつり」。昨年度を上まり、開催できた。

(7) 行事

・園外行事

実施月日	行先・内容	参加者
6 / 7・8	ホテル観賞会	希望者
6 / 7・8	ボーナス外出	全 員
6 / 27～28	食品加工班旅行	班利用者
7 / 11～12	石鹼班旅行	班利用者
7 / 28	地引網体験	GH 利用者
8 / 29～30	G 実習班旅行	班利用者
9 / 19～20	外作業班旅行	班利用者
9 / 26～27	地域活動班	班利用者
11 / 14～12	万木 B 班旅行	班利用者
11 / 27	コロナワクチン接種	65 歳以上利用者
12 / 6・7	ボーナス外出	班利用者

12/20	クリスマス忘年会	全 員
2/1	冬の GH 外出	GH 利用者
2/7・8	イルミネーション見学	希望利用者
2/22	G 実習 30 周年を祝う会	班利用者
2/28	ふれあい音楽会	希望利用者
3/13	万木 A 班日帰り旅行	班利用者

・園内行事

実施月日	名称	内容	参加者
4/27	避難訓練	火災想定	全 員
5/25	避難訓練	初期消火訓練	新人職員
6/22	炊き出し訓練	園内にて実施	全 員
7/27	避難訓練	地震想定	全 員
7/1～8/31	サマータイム		
8/11	ケース会議	交流ホームにて実施	職 員
8/15	花火大会	園庭にて実施	全 員
8/24	避難訓練	火災想定	全 員
9/2	初期消火訓練・職員招集訓練	火災訓練	職 員
9/17	第三者評価（利用者調査）	各班対応	全 員
9/30	避難訓練	火災想定	GH 利用者・職員
10/19	避難訓練	地震想定	全 員
10/26	槇の里祭	園庭にて実施	全 員
11/16	避難訓練	火災想定	全 員
12/16	避難訓練	火災想定	全 員
12/28	ケース会議	交流ホームにて実施	職 員
2/20	紅白歌合戦	交流ホームにて実施	全 員
1/9	コロナワクチン接種	医務室にて実施	希望利用者
1/25	避難訓練	火災想定	全 員
2/22	避難訓練	地震想定	全 員
3/18	避難訓練	火災想定	GH 利用者・職員
3/29	花見の会（電車見学 day）	雨天の為体育館にて	全 員
毎月。第 1 土曜日には、血圧・体重測定。 第 4 土曜日（原則）の昼食時に「誕生会」を実施。			

恒例行事は年間予定に沿って予定通りに実施出来た。

・一時帰宅

実施月日	学園生活者・職員の動きなど
5 / 3 ~ 5 / 5	マイサポートなどに活用
8 / 11 ~ 8 / 13	マイサポートなどに活用
11 / 22 ~ 11 / 24	マイサポートなどに活用
1 / 2 ~ 1 / 4	マイサポートなどに活用

・面会状況

実施日	主な行事	備考
4 / 14	個別支援計画書等の説明	
6 / 9	学園連絡会	
9 / 15	学園連絡会	
12 / 8	学園連絡会	
3 / 9	学園連絡会（中止）	手紙を発送

今年度は予定通りに実施した。尚、面会時は基本的な感染予防（マスク着用と手指消毒）を保護者に依頼した。

・理事会・評議員会

理事会	6 / 5	11 / 21	3 / 6
評議員会	6 / 21	11 / 29	3 / 21

【5】短期入所・日中一時支援

（千葉県）

種別	利用者		延日数・時間	前年度
短期入所	1	Na・Fu	7日	98日
	2	To・Ta	365日	365日
	3	Ka・Yu	365日	365日
	4	Tu・Ri	29日	18日
	5	Su・Ki	2日	2日
（計）	5人		768日	対比日-85日
日中一時支援	1	Na・Fu	81時間	30時間

	2	T u ・ R i	1 2 6, 5 時間	5 7, 5 時間
	3	S u ・ K i	6 7 時間	3 9 時間
	4	A s ・ R y	6 0 時間	0 時間
(計)	4 人		3 3 4. 5 時間	対比+ 2 0 8 時間

(東京都)

種別	利用者	日数	備考
短期入所	S e ・ T o	3 6 日	
	S i ・ Y u	5 日	
	M i ・ T a	3 1 日	
	M a ・ T a	1 7 日	
(計)	4 人	8 9 日	

【6】グループホーム

(1) GHの利用状況(変化なし)

GH	利用者(男・女)	日中活動など
さくらの家	5 名(男 3 ・女 2)	職場就労、生活介護(学園の生活介護)
たんぽぽの家	5 名(男 2 ・女 3)	職場就労、生活介護(学園の生活介護)

高齢化問題はGH利用者も同様で、G実習参加は継続しているが週末などは必要に応じて学園対応としている。

(2) GH ケア会議

寮長やGH支援員補助職員、GHサビ管、地域生活委員会の委員などが参加して利用者情報の共有と対策等を検討した。

(ケア会議実施日)

4 / 3 0	5 / 2 8	7 / 3 0	8 / 2 8
9 / 2 5	1 0 / 2 9	1 1 / 2 7	1 / 2 9
2 / 2 6	3 / 2 6		

(3) 移動支援事業者によ(2ヶ所のGHの合計)

	利用回数(回)	総利用時間(時間)	週平均時間
令和5年度	4 5	1 9 7, 5	4, 3
令和6年度	1 8	9 2, 5	5, 1

増減	- 2 7	- 1 5 0	+ 0, 8
----	-------	---------	--------

＊昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染予防により外出範囲は千葉県内とした。

(4) 防災訓練・地域清掃活動

GHは昨年度と同様に「減災」を意識したBCPに基づく備品管理は毎月実施している。

また、避難訓練は夜間を想定（19:00～）した内容で、R6、9/30に実施した。地域貢献活動として、7/6大原海岸の清掃をGH希望利用者（7名）で実施した。

【7】食 事と睡 眠

- ・食事に関しては、【2】利用者支援の柱 （4）食事形態 参照
- ・睡眠時間の確保は、健康維持における重要な問題である。睡眠時間の確保に向けた対応は常に必要な利用者には個別にチェックして支援の検討材料に反映している。また、毎月行っている脳神経科医の野村先生の診察では、特定利用者の報告や相談を行った。

【8】会 議

「会議」の目的は「課題に対してなにをするかを決定すること」であり、決定したことは実践し、その結果に責任を持つこと（検証）が不可欠である。

(1) 運営会議

幹部職員で構成し、重要事項を協議して円滑な事業運営を図る。

ボーナス支給査定委員会、金銭管理委員会、虐待防止委員会（2/17開催）。

考課者調整会議開催（前期10/18後期3/27）

(2) 職員会議〔第4土曜日午前中開催〕

全職員が参加し、学園全体に関わる諸問題を報告・検討して周知徹底を図った。

(3) 支援会議〔第2土曜日午前中開催〕主任会主催。

会議目的は多くの職員の意見をくみ取り、課題に対する支援の方向性を定めることである。男女別会議の活用も進み、より個別具体的な課題を調整することにつながっている。

(4) サービス点検委員会〔適時開催〕

学園全体に関わる事項の検討・報告は、職員会議/支援会議を通じて全体に周知させている。

(5) 主任会 [月/1回]

主任、各班の責任者で構成し、課題を分析・提案し、その後の検証までを行う。6年度も準職員/パート職員の研修も企画し実施した。

(6) 作業班・委員会会議 [作業班会議は隔月/1回]

各作業班及び各専門委員会の計画に沿った支援状況のモニタリングを行う。また、新たな課題等について検討を行った。

(7) クラブ担当者的会議 [年/2回実施]

(8) ケア会議 [月/1回]

GH さくら・たんぽぽの家 寮長と寮長補佐、サビ管、学園職員が参加して、学園と GH を繋ぐ大切な情報を共有する場である。必要に応じてバックアップ体制を整えている。

(9) 地域連携推進会議 [新規・今年度の開催は努力義務]

共同生活援助 (GH) における地域連携を議題とし、3 / 17 にいすみ学園にて行った。参加者はガイドラインに示されている関係者 (利用者代表 1 名・保護者代表 1 名・地域関係者 1 名・市町村担当者 1 名・福祉施設関係者 2 名・学園 GH 職員 3 名) を招いて開催した。

[専門委員会]

①権利擁護委員会 **【2】** 利用者支援の柱より (10)権利擁護 参照。

②生活余暇委員会

生活余暇委員会では、利用者が豊かな生活を送れるよう、季節に応じたイベントを企画した。6月は近隣にあるホタルの里に出向き、ホタルを鑑賞しながら初夏の夜を楽しんだ。

2月は茂原市で開催される冬の七夕祭りとして、イルミネーションで装飾された遊歩道を散策する予定であったが、感染症の拡大により中止となってしまった。

また、生活の中では、季節ごとに棟内を装飾し季節感と気持ちの豊かさを求めた演出を行った。

10月に開催される槇の里祭では、ボランティアの募集を働きかけ、近隣の高校生や大学

生、一般の方々と総勢41名のボランティアを募ることができ、模擬店販売や駐車場の警備など、大勢のボランティアの協力により学園祭を開催することができた。

③地域生活委員会

令和6年度も10月、12月、3月と感染症対策による特別日課の影響を受けて、委員会の活動が一部制限されたことは否めないが、そんな中での最低限の委員会としての活動（地域清掃、移動支援、交通安全の心掛け、ヘルプマークの活用、新紙幣発行への対応など）は概ねできたと考える。今後も基本的な感染対策は変わらず行っていかなければならないが、一人一人の利用者に寄り添いながら、地域支援委員会の活動を模索し今できる工夫を形にしながら進めて行きたい。且つ地域共生の考えのもと、地域社会との連携を大事にしながら地域を盛り上げていけたら幸いと考えている

④就労委員会

令和6年度は、学園全体として様々な感染症が流行し、結果として仕事を休まざるをえなくなってしまった。只各企業さまの理解は高く、これまで積み重ねてきた信頼によるものだとして改めて実感をした。又T・Eさんに関しては持病が悪化し、療養の為約半年ほどのお休みを頂いたが、その間職場や本人へのフォロー等を行い、2月より職場復帰を果たす事が出来た。

謝礼金や給与については、食事会や新幹線を使つての仙台への旅行又2月にはグループ実習班の30周年式典を「太陽の里」で実施し、食事や温泉を楽しみ日頃の労をねぎらう事が出来た。

⑤健康管理委員会（精神科などの診察担当も含む）

委員会メンバーは、看護師・栄養士・支援員・給食業者（レオック）の各分野から集まり、利用者の健康状態に合わせた対応、栄養面の把握や支援、季節や行事に合わせた特別食の企画と提供など、健康管理と食生活の支援に取り組んだ。毎月1回会議を行い、利用者の変化を見極めながら各分野の立場から意見を出し合い、対応を考えた。また、毎月1回実施している野村先生の訪問診察も委員会で担当し、支援につなげた。今後も利用者が健康で、食べる楽しみや季節を感じる暮らしを送れるように支えていきたい。

⑥商品研究委員会

令和6年度も、SNS（インスタグラム）をメインに、いすみ学園の商品、作っている様子を載せて紹介を行ってきた。新たな商品の提案として、ニンニクのオイル漬けを、加工班と話し合い、試作品を2回作ってもらい、委員や他の職員と試食会を行ってきた。現状、味の調整等が必要でしたので、次年度も試作品を作ってもらい、試食会を実施して行き、商品化出来る様に取り組んで行きたいと考えている。

⑦虐待防止委員会

虐待防止委員で構成し、2月に運営委員会を開催し、今年度の取り組みの振り返りを行った。また、今年度は2月に全常勤職員を対象に「職員セルフシート」を活用し自己評価を実施した。それぞれの意識の確認を行う機会となった。

⑧ICT 委員会

令和5年度の課題としていた記録の簡素化は、ケース項目の追加や研修を実施し、少しずつではあるが改善傾向にある。又居室内の見守りカメラの導入をし、更に利用者さんの安全及び職員の負担軽減を図る事ができた。今後もシステムの維持、管理を担っていきたいと考える。

⑨オンブズマン会議「よろず相談会」

今年度は、4月6月8月に、2名の第三者委員をお迎えし、「よろず相談会」を実施した。毎回到7～8名の利用者が参加し、悩みや相談事。また日頃の作業や行事の話をされていた。

⑩地域包括ケアシステム構築推進事業

今年度は開催が無かった。

【9】その他

(1) 「福祉サービス第三者評価」

令和6年度、「(株) ハッピーネットワーク」で受審。
その結果については「福祉ナビ」で公開されている。

(2) 実習生受け入れ

- ・千葉敬愛短期大学2名。3／3、4・3／17～26
- ・千葉明德短期大学2名。2／13～27
- ・社会福祉士養成所1名。9／4～30

(3) 各作業版の顧客

・食品加工班

ごじゃ箱 (大原)	290-0004 いすみ市大原 9930	0470-63-1231
ごじゃ箱 (岬)	299-4615 いすみ市岬町井沢 1896-1	0470-87-8580
農産物直売所「まんてんの園」	298-0105 いすみ市能実 39	0470-86-3743
農産物直売所「なのはな」	298-0002 いすみ市日在 1158-1	0470-64-0502
道の駅 (ながら)	297-0233 長柄町六地藏 138-1	0475-35-4741
カインズ	297-0007 茂原市腰当 653-1	070-2790-9027
セルプショップぶなの森	596-0808 岸和田市北町 16-20	072-431-2878
りんごの木	581-0868 八尾市西山本町 4-15-2	0729-93-4330
ながら太陽ファーム	297-0206 長柄町山根 2010	0475-47-3711
非営利活動法人日本セルプセンター	160-0022 東京都新宿区新宿 1-13-1 大橋御苑駅ビル別館 2 階	03-3355-8877
PIPP0	125-0042 東京都葛飾区金町 5-28-2	050-5275-2000
(株) レオック	125-0042 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル 1 7 階	03-5220-8503
長生村尼ヶ台直売所	長生郡長生村本郷 5366	0475-32-5237
パレットショップひびき	577-0804 大阪府東大阪市 中小阪 5 丁 14 番 23 号	06-6732-1130
ベーグル粉音	299-4616 いすみ市岬町長者 37-3	0470-64-4802

・外作業

ごじゃ箱 (大原)	290-0004 いすみ市大原 9930	0470-63-1231
ごじゃ箱 (岬)	299-4615 いすみ市岬町井沢 1896-1	0470-87-8580
農産物直売所「まんてんの園」	298-0105 いすみ市能実 39	0470-86-3743
農産物直売所「なのはな」	298-0002 いすみ市日在 1158-1	0470-64-0502
道の駅 (ながら)	297-0233 長柄町六地藏 138-1	0475-35-4741
(株) レオック		
ながら太陽ファーム	297-0206 長柄町山根 2010	0475-47-3711

・石鹼班

ごじゃ箱 (大原)	290-0004 いすみ市大原 9930	0470-63-1231
ごじゃ箱 (岬)	299-4615 いすみ市岬町井沢 1896-1	0470-87-8580
農産物直売所「まんてんの園」	298-0105 いすみ市能実 39	0470-86-3743
農産物直売所「なのはな」	298-0002 いすみ市日在 1158-1	0470-64-0502
農産物直売所「はじめの歩」	299-4413 長生郡睦沢町上之郷 1952	0475-43-0877
農産物直売所「尼が台」	299-4345 長生郡長生村本郷 5366-1	0475-32-5237
道の駅 (ながら)	297-0233 長柄町六地藏 138-1	0475-35-4741
道の駅 (たけゆらの里)	298-0256 夷隅郡大多喜町本神 855	0470-82-5505
源氏商店	298-0124 いすみ市弥正 375	0470-86-2053
JA グリーンスパいすみ	299-0001 いすみ市若山 411	0470-60-9820
なのはな東浪見店	299-4303 長生郡一宮町東浪見 1621	0475-47-3600
エビスヤ	299-4501 いすみ市岬町椎木 1846	0470-87-2709
カエム農園	298-0252 大多喜町三又 851	0470-84-0344
わくわく広場 東郷店	297-0017 茂原市東郷 1618	0475-22-7320
ながら太陽ファーム	297-0206 長柄町山根 2010	0475-47-3711
PIPP0	125-0042 東京都葛飾区金町 5-28-2	050-5275-2000

設備の整備状況

令和6年度の主な設備整備は次の通りである。

〔固定資産の取得〕

整備名 「食品加工棟冷蔵プレハブ用冷凍機」

	取得価格	1, 149, 500円
(内訳)	自己資金	1, 149, 500円
	補助金	0円

整備名 「陶芸窯一式」

	取得価格	1, 923, 108円
(内訳)	自己資金	323, 108円
	補助金	1, 600, 000円

(社会福祉法人清水基金)

整備名 「ラジコン草刈り機導入」

	取得価格	1, 831, 500円
(内訳)	自己資金	916, 500円
	補助金	915, 000円

(いすみ市)

整備名 「生活棟居室防犯カメラ一式整備」

	取得価格	4, 411, 000円
(内訳)	自己資金	2, 411, 000円
	寄付金	2, 000, 000円

(保護者会)

整備名 「さくらの家カメラ環境構築」

	取得価格	583, 000円
(内訳)	自己資金	583, 000円
	補助金	0円

整備名 「たんぼぼの家カメラ環境構築」

	取得価格	583, 000円
(内訳)	自己資金	583, 000円
	補助金	0円

令和6年度 評 議 員 会 開 催 状 況

開催年月日	定数／出席者数	議 案	欠席	監事・他出席者
令和6年6月21日	8／8	報告 「クラウドファンディング完了報告」		豊岡 敬
		第1号議案 「令和5年度事業報告書（案）承認」決議の件		江澤 正利
		第2号議案 「令和5年度決算報告書（案）承認」決議の件		皆川 明良
		第3号議案 「社会福祉充実残額シート（案）承認」決議の件		加茂 正和 軽込 進一
令和6年11月29日	8／7	報告 「社会福祉法人横の里 給食業務委託指名型プロポーザル結果報告」	豊岡 敬 渡辺 敏男	江澤 正利
		第1号議案 「第一次補正予算書（案）」承認の件		軽込 進一 加茂 正和
令和7年3月21日	8／6	報告 「令和6年度社会福祉法人等指導監査の実施報告」 「評議員欠員に伴う新評議員の報告」	實方 悦子 渡辺 敏男	豊岡 敬
		第1号議案 「第二次補正予算書（案）」承認の件		江澤 正利
		第2号議案 「令和7年度事業計画書（案）」承認の件		皆川 明良
		第3号議案 「令和7年度収支予算書（案）」承認の件		軽込 進一 鈴木 典子

令和6年度 理事会開催状況

開催年月日	定数／出席者数	議 案	欠席	監事・他出席者
令和6年6月5日	7／7	報告 「理事業務執行報告」「常務理事業務執行報告」 「クラウドファンディング完了報告」		豊岡 敬 江澤 正利 加茂 正和 鈴木 典子
		第1号議案 「令和5年度事業報告書」承認の件		
		第2号議案 「令和5年度決算報告書」承認の件		
		第3号議案 「社会福祉充実残額シート」承認の件		
		第4号議案 「運営規程（案）」改正の件		
		第5号議案 「虐待防止規定（案）」改正の件		
		第6号議案 「プライバシー保護に配慮した防犯モニターの設置及び運用に関する要綱（案）」承認の件」改正の件		
		第7号議案 「役員等賠償責任保険契約について」		
		第8号議案 「第1回評議員会の日程ならびに議案」承認の件		
令和6年9月20日	7／7	第1号議案 「社会福祉法人横の里 給食業務委託事業」の件について	（書面決議）	豊岡 敬 江澤 正利 （書面）
令和6年11月21日	7／7	報告 「理事業務執行報告」「常務理事業務執行報告」 「社会福祉法人横の里 給食業務委託指名型プロポーザル結果報告」		豊岡 敬 江澤 正利 皆川 明良 加茂 正和 軽込 進一
		第1号議案 「第一次補正予算（案）」承認の件		
		第2号議案 「いすみ学園規程（案）」改正の件		
		第3号議案 「共同生活援助さくらの家運営規程（案）」改正の件		
		第4号議案 「第2回評議員会の日程ならびに議案（案）」承認の件		
令和7年1月31日	7／7	第1号議案 「評議員欠員に伴う 評議員選任・解任委員会への新評議員（案）」提案	（書面決議）	豊岡 敬 江澤 正利 （書面）
令和7年3月6日	7／6	報告 「理事業務執行報告」「常務理事業務執行報告」 「令和6年度社会福祉法人等指導監査の実施報告」 「評議員欠員に伴う新評議員の報告」	半場 新一	豊岡 敬 江澤 正利 加茂 正和
		第1号議案 「第二次補正予算書（案）」承認の件		
		第2号議案 「令和7年度事業計画書（案）」承認の件		
		第3号議案 「令和7年度収支予算書（案）」承認の件		
		第4号議案 「常勤職員および準職員・嘱託職員給与等規程（案）」改正の件		
		第5号議案 「常勤職員および準職員・嘱託職員就業規則（案）」承認の件		
		第6号議案 「育児・介護休業等規程（案）」承認の件		
		第7号議案 「慶弔見舞金規程（案）」承認の件		
		第8号議案 「出張旅費規程（案）」承認の件		
		第9号議案 「第3回評議員会の日程ならびに議案（案）」承認の件		